

# 日々の生活における記憶の種類

埼玉県立大学保健医療福祉学部  
作業療法学科 講師  
石岡 俊之

ひとは忘却の生き物と呼ばれるが、日々の生活において様々なことをおぼえ、思い出します。神経心理学的に生活における記憶にはどのような種類があるかその一部を紹介しましょう。

今年も後 2 か月、クリスマスを意識する時期です。

A：「去年のクリスマスは、お台場のレストランで食事したね。とっても楽しかった。」

B：「楽しかったね。今年も、同じレストランに行こうよ。明日の夕方 6 時に予約の電話をしておくね。」

## I. 内容の記憶と内容に附随する記憶

A さんが思い出したような生活の中の記憶を出来事記憶（エピソード記憶）といいます。これは、クリスマスはイエス・キリストの生誕の日であるという言葉の意義や知識の記憶（意味記憶）とは区別されています<sup>1)</sup>。

出来事記憶には、出来事自体の内容記憶（2 人で食事した）とその内容に附随する文脈情報“いつ”という時間（去年のクリスマス）や“どこ”という場所（お台場のレストラン）の記憶<sup>2)</sup>や出来事を体験しているときの情動変化の記憶（楽しかった）も含まれます。よって、思い出として出来事を生き生きと再生するには、内容のみならず附随する文脈や感情の全てが思い出される必要があります。しかし、「2 人で食事を食べたのは、いつだったかな？」とか「食事したのは、どこのレストランだったか？」と食事をしたという内容は思い出すが、“いつ”や“どこ”という文脈の記憶は忘れるなど内容の記憶と時間や場所の文脈の記憶は解離していることがわかっています。

## II. 予定の記憶

一方、記憶とは過去の経験したことだけでなく、将来の行動に関わる記憶があります。

B さんは、A さんに明日の夕方 6 時にお店に予約の電話をすることを約束しました。この約束は明日の夕方 6 時にお店に電話をして初めて成立し、約束した時点ではまだ実現されていない未来の出来事です。B さんは、朝起きて日常の業務をこなしている間この約束をずっと意識しているわけではありません。しかし、夕方 6 時近くになるこ

とをきっかけにタイミング良く思い出し約束を果たします。このような記憶を展望的記憶と呼ばれています。また、「買い物に行く途中、ポストに葉書を出す」というようにきっかけがポストという事象である展望的記憶も存在し分類されています<sup>3)</sup>。この展望的記憶をつつがなく成功するためには、きっかけ(夕方 6 時)をタイミング良く思い出す(存在想起)とその行動内容(お店に電話をして予約をする)を思い出す(内容想起)の 2 つの想起があることが示されています<sup>4)</sup>。

現在、これらの記憶の神経基盤の解明が色々な研究手法でなされており、リハビリテーションでの応用が期待されています。皆さんももの忘れをしたとき、どの種類の記憶を忘れたか考えてみませんか。ものを忘れることが新たなことをおぼえることにつながるかもしれません。

#### 【文献】

- 1) Squire LR, Zola-Morgan S: The neuropsychology of memory: New links between humans and experimental animals. *Annals of New York Academy of Sciences* 1985; 444: 137-149
- 2) Huppert FR, Piercy M: Recognition memory in amnesic patients: Effect of temporal context and familiarity of material. *Cortex* 1976; 12: 3-20
- 3) Einstein GO et al.: Normal aging and prospective memory. *J Exp Psychol: Learning, memory and cognition*. 1990; 16: 717-726
- 4) 梅田 聡ら：コルサコフ症候群における展望的記憶。 *神経心理学* 2000; 16: 193-199

：用語の訳に関しては、山鳥 重： *神経心理学コレクション 記憶の神経心理学*。医学書院 2002 を参考にしています。